

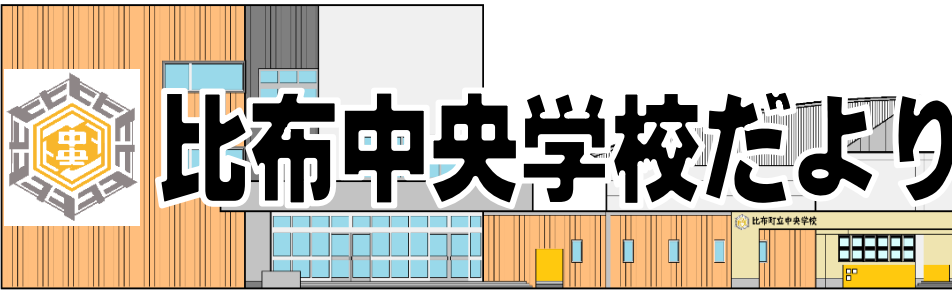
1日防災学校を行いました

9月5日(金)に1日防災学校に全校で取り組みました。それぞれの発達段階に合わせて、外部の方々の力をお借りながら防災に関する体験活動や授業を行いました。1、2年生は、防災カルタで遊びを通して防災についての理解を深めました。3年生は、図工の授業の中で防災スリッパを作製、4年生は避難生活用の段ボールベットの組み立て体験を行い、避難所などで「自分にもできることがある」ということを学びました。5年生は气象台の方から気象と災害についての講話、6年生は前期課程教頭の小田島が、自然災害について授業を行い、災害に対する知識を身につけました。7～9年生は、避難所運営ゲームである「Do はぐ」を行い、実際の避難所で起こる様々な問題に対するシミュレーションを行いました。それぞれの学年で防災の意識の高まりを感じることができました。ご協力くださった関係機関の皆様、ありがとうございました。



10月

- | | | | |
|--------|--|--------|---|
| 1日(水) | 交通安全街頭指導 | 16日(木) | 学芸会児童公開日
職場体験報告会(8年) |
| 2日(木) | 前期課程集会 読み聞かせ(1・2年)
マラソン記録会予備日(3,4年)
教育相談(後期~14日)
2計測 視力検査(後期~14日)
天体観測会(町教委) | 17日(金) | 学芸会実行委員会③
学芸会前日準備 |
| 3日(金) | 職員会議
マラソン記録会予備日(5・6年) | 18日(土) | 学芸会一般公開日 |
| 7日(火) | 学校教育指導訪問 研修日
生徒総会 | 20日(月) | 前期振替休業日 |
| 8日(水) | 学力テストB(9年) | 21日(火) | 後片付け |
| 9日(木) | 就学児検診 | 22日(水) | 研修日 |
| 10日(金) | 学芸会実行委員会①(前期)
放課後パトロール | 23日(木) | 期末テスト(9年~24日) |
| 11日(土) | 吹奏楽部定期演奏会 | 24日(金) | 貯金日(前期)委員会(前期)
英検ESG(6年) |
| 15日(水) | 学芸会実行委員会② | 27日(月) | 貯金日(後期) |
| | | 28日(火) | 後期課程生活体験
リーディングスキルテスト(5・6年) |
| | | 29日(水) | ぴっぴ活性化プロジェクト(9年) |
| | | 30日(木) | 全校5時間授業(町文化祭準備)
後期保護者進路説明会
リーディングスキルテスト(7・8年) |
| | | 31日(金) | 町民文化祭(~2日) |



20年後30年後に社会を動かす人材を育てていくために

校長 杉本 仁

昨年の学校だより9月号で、「学びの秋」という題で、以下の内容をご載せさせていただきました。

- 今求められているのは、『先生方が学習内容について丁寧に教えるということよりも、児童生徒自身がその課題の答えを見つけていく（自ら学ぶ）』授業である。
- 教え方が上手な先生よりも、学ばせ方が上手な先生が求められる時代になっていく。
- 全校集会でも、「これからは、『授業で先生方が教える』ということよりも、皆さん自身が答えを見つけていくということが大切と言われています。皆さんは、是非いろいろなことに興味をもって、自分の考えをもつこと、そしてそれをまとめたり、発表したりすることを意識して、自分で答えを見つけていく学習方法を身につけてほしいと思います。」という話をした。

9月27日に室蘭市で行われた全道から校長が集まる研究会で、パナソニックITS 代表取締役社長 田辺 孝由樹 さんの講演を聞く機会を得て、上の事とつながるお話に感銘を受けました。

正直、お話を聞くまでは田辺さんのことは、存じ上げていなかったのですが、講演後に興味をもち、調べさせていただいたところ、たくさんの方にチャレンジされ、実績を上げている方で、存じ上げなかったことが恥ずかしくなりました…。



【パナソニックITSが室蘭市で展開する

Maasプロジェクト】

田辺さんは、文部科学省のアントレプレナーシップ推進大使も務められていますが、今回の題の「20年後30年後に社会を動かす人材を育てていくために」は、このアントレプレナーシップと関係があります。

アントレプレナーシップとは、一般的には、「起業家精神」訳されますが、文部科学省では、「新たな価値を生み出していく精神」と捉え、自ら社会課題を見つけ、課題解決にチャレンジし、他者と協働しながら解決策を探究することができる知識・能力・態度を身に付ける教育をアントレプレナーシップ教育と位置付けています。（本当は何でも横文字にするのにはちょっと抵抗があるのですが…）

さて、今回の題の「20年後30年後に社会を動かす人材を育てていくために」に触れたいと思います。

20年後30年後はどんな社会なのか

- 技術革新のスピードは今以上になる
 - 学校で身につけた知識はすぐに古くなる。だから学校を卒業した後も、学び続けることが大切
- AI（人工知能）が完全に生活の中に入ってくる
 - 課題解決は、AIがやってくれる時代になるかも？人間の役割は、課題を見つけることや、他者と協働して（AIが苦手）新たな価値を見出し、課題解決につなげること。

こんなに単純ではないことは明らかですが、こうやって並べてみると、「自ら学ぶ」「課題を見つける」「自分で答えを見つけ出す」ということが、20年30年後に社会を動かすために必要な条件であることは分かっていただけだと思います。

20年後30年後に社会を動かしていくのは、比布中央学校で学ぶ児童生徒の年代の子どもたちです。本校での学びが、20年後30年後に生きてくることを願っています。

最後に、田辺さんの講演で心に残っている言葉を紹介します。

「失敗は、クルマのガソリンのようなもの。失敗が多いほど、遠くまで行けるようになる。」

少々堅い話を最後までお読みくださり、ありがとうございました。

「パナソニックITSわくわくTV」というYouTubeチャンネルがあります。興味があればご覧ください。

後期課程 学校祭

9月13日（土）後期課程の学校祭を行いました。

当日は、実行委員会が時間をかけて準備してきた、学校祭を盛り上げるパフォーマンスが行われました。先生方も登場し、会場は大いに盛り上がりました。弁論大会では、各クラス2名ずつ選出された代表が堂々と発表しました。最優秀賞を受賞したのは、「違いを認める社会」という論題で発表した古川那奈さんでした。



その後は、午前中に7年生と8年生、午後には9年生の学年発表を行いました。どの学年の発表も演劇ワークショップで教えていただいたことを生かしたものとなりました。限りある時間の中での練習でしたが、学年が協力し、練習に取り組んだ成果が表れました。



午前の最後には実行委員会企画が行われました。各クラスから代表が出てきてハラハラドキドキするようなゲームが行われ、全校生徒が楽しめました。また、午後の吹奏楽部の発表も、それまでの練習の成果が発揮される素晴らしいものでした。



今年度の学校祭も、たくさんの方に来校いただき、子どもたちの活躍を見ていただくことができました。10月18日（土）の前期課程学芸会にも、多数のご来校をお待ちしています。

8年生 職場体験学習

9月18日(木)に8年生が職場体験学習を行いました。町内17か所の事業所(右表)にお世話になりました。大変ありがとうございました。

8年生は、今回の職場体験を通して、働くことの意義や大変さを感じたことと思います。今後、自分の進路を考える際の参考になる貴重な体験となりました。

また、今回の職場体験の成果を10月16日(木)に職場体験報告会で発表する予定です。

比布町立中央学校 前期課程	ピピマルシェ ・ピピファーム
くるみ保育園	セイコーマート
北の竹工房	NANA PLAZA
ピピカフェ比布駅	比布町役場
ばらえていきっちゃん 紙風船	大雪消防組合 比布消防署
遊湯びっぴ	比布町図書館
D aマルシェ比布店	越智歯科医院
比布町農協	比布クリニック
福屋商店	



稲刈りをしました

9月9日(火)に3~6年生が那須さんの田んぼで稲刈り体験をしました。黄金色に輝く稲穂が美しく、ずっしりと実った稲を手で刈りました。収穫した稲は、今後給食で出される予定です。とても楽しみです。



避難訓練をしました

9月9日(火)に前後期合同の避難訓練を行いました。今回の避難訓練は、休み時間に事前の予告なく行いました。災害は予告なく起きるので、実際の危機に対応する訓練となりました。